

第1号議案 2008年度（平成20年度）事業計画（案）

並びに収支予算書（案）に承認を求める件

2008年度活動方針総括

神内 擴行（横浜リハビリテーション専門学校）

2008年度は診療報酬の大きな改定時期に当たります。会員各位が所属する病院の経営にも影響を及ぼし、リハビリ部門の方向性ひいては理学療法士の人員配置や待遇面にも影響を及ぼすと思われま。このような厳しい現状の中で、理学療法士は自分達の職域を守り、真摯な態度で患者・利用者様の期待だけでなく、病院経営者の立場も理解したうえで、対応する必要があるでしょう。本理学療法士会はそのような皆様会員のお仕事を支え、支援するという役割を担っていると認識しております。健康・福祉・医療・介護といった社会の中で理学療法士の役割を評価していただき、理学療法が社会に浸透してゆくために、本会は組織として対応してゆかなければならないと考えています。もちろん、そのような活動は本会だけの活動で満たされるものではありません。会員各位の現場での日々の活動一つ一つが、常に社会から評価されており、その積み重ねが理学療法士全体の評価につながっているという自覚を持っていただくとともに、各位のご協力をお願いする次第です。本会の組織立った活動と会員各位の日々の活動が理学療法士の社会での評価に結びつこう努力したいと思ひます。

以下に次年度における具体的活動についてご提案させていただきます。

法人の主たる活動は県民のための公益事業と会員のための支援活動であるといえます。そのために事務局は会員管理システムの充実と、会員と本会をつなぐホームページ作成等のIT機能の向上を図ります。

学術局は現新人教育部を生涯学習部に改称し、会員の生涯学習プログラム単位習得の促進対策を図ります。また、県理学療法士学会の計画的運営のため、学術大会企画部を増設し、会員の発表の場を広げ、会員の質的向上を目指します。

社会局は県民のための公益事業と会員のための支援事業の充実を図るため、局内の活動を細分化し、より現実に即した組織改編を図り、会員向け研修会の拡大及び充実、市町村からの依頼対応強化、介護予防を含めた健康増進事業などを充実させたいと考えております。また、本会の将来的課題である数年先に迫った公益法人改正に伴う対策として、公益法人対策プロジェクトチームを立ち上げ、公益法人格取得への道筋を検討してゆく予定になっております（以上、2008年度士会組織図参照）。

さらに士会活動全体の幅を広げ、県内の活動面積を拡大し、ひいては士会活動を通して県内理学療法士の力強いネットワークを築き上げるために、より具体的な県内ブロック化の検討を進めてゆきたいと考えております。全会員参加型の士会組織になりますよう、会員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以上、2008年度事業計画案について総括してご報告いたしました。よろしく、ご審議お願い申し上げます。

事務局担当理事

常任理事 林 克郎（横浜リハビリテーション専門学校）
理事 広瀬好郎（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
理事 大槻かおる（大和市立病院）

事務局

事務局長 山口泰成（森の里病院）

昨年度に引き続き、事務所機能の充実を図ります。2008年度は事務職員3名体制を継続し、3名の合計勤務時間を最大週92.5時間とします。事務所では理事会議事録作成、ニュース求人広告管理、人材バンクの管理だけでなく、広報活動を中心としたホームページ更新、メルマガの配信等も業務追加し、担当部署との連携を図り遂行します。

また、クレジット機能付き会員証の発行に向けて協会と連携を図り推進していきます。ホームページリニューアル、事務所購入時の借入金一括返済に向けた積立金の予算を確保します。また、各部委員会の行っているルーチンワークを事務所へ委譲させ役員の負担軽減を図ります。この他、主な事業は以下のとおりです。

- 1、入退会、転入出等会員管理事務
- 2、各種文書收受、公文書等発送管理
- 3、総会、理事会の開催事務
- 4、経理事務
- 5、会費徴収事務
- 6、現金出納事務
- 7、会員、関係機関、県民等からの各種問い合わせの対応
- 8、ホームページ更新管理
- 9、広告管理業務
- 10、メールマガジン配信業務
- 11、会員派遣依頼に関する受付業務
- 12、その他

総務部

部長 角掛洋行（横須賀市立市民病院）

総務部は、以下の係を統括し、総務全体の業務を行う

書記係

係長 齊藤和男（新戸塚病院）

- 1、常任理事会議事録・理事会議事録の校正
- 2、総会議事録の作成・保管およびニュースへの投稿
- 3、その他、会議の記録に関すること

新人オリエンテーション係

係長 木下尚久（介護老人保健施設つくしの里）

- 1、県内就職者（新卒者）の把握
- 2、新人オリエンテーション案内状の発送
- 3、財務部及び事務局と協力のうえ、入会手続き事務の実施
- 4、その他（参加者への昼食手配等）

ウェブサイト管理部

部長 林 克郎（横浜リハビリテーション専門学校）

- 1、ホームページメニューとコンテンツの検討・決定
- 2、ホームページコンテンツ作成・公開
- 3、ホームページ管理・運営

ニュース編集部

部長 坪内敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

- 1、士会ニュースの発行
年6回奇数月に発行する
予定発行部数
平成20年5月号（No.221）～平成20年3月号（No.226）2700部
※部数は会員数に合わせて調整
- 2、ニュース編集会議・企画会議の開催
毎月2回
- 3、ニュース記事の取材
必要に応じて士会の活動に関する取材を行う
- 4、ニュースのデジタル化の検討
情報の公平性を維持しながらデジタル化を行うために検討をしていく。

社会局担当理事

常任理事 炭 孝昭（太田総合病院）
理事 中村さち子（平塚市民病院）
理事 惣田 洋（横須賀共済病院）
理事 露木昭彰（(有)足柄リハビリテーションサービス）

社会局

社会局の組織改変に伴う事業の見直しなどの検討のため、社会局会議を5回行なう。

公益事業推進部（前 理学療法普及啓発部）

部長 相馬光一（神奈川リハビリテーション病院）

1 から7については「理学療法普及啓発キャンペーン」（仮称）として実施

1、ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド（主催：横浜市リハビリテーション事業団）

日時：6月26-28日

場所：パシフィコ横浜

内容：ブース展示

パネル展示

パンフレット配布

2、公開講座 介護予防キャラバンとして実施します。

日時：未定

会場：未定

内容：介護予防

講師：検討中

3、公開セミナー 整形外科疾患を対象にした内容を予定。

日時：7月21日

会場：かながわ県民センター ホール

内容：検討中

講師：石井慎一郎（県立大）ほか

4、公開シンポジウム 障害児・者を対象にした内容。

日時：8月3日

会場：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

内容：検討中

シンポジスト：検討中

5、ハイスクールフォーラム 高校スポーツを対象とした内容を予定。

日時：8月16日

会場：かながわ県民センター ホール

内容：検討中

講師：検討中

6、理学療法見学会

日時：8月中旬から下旬

会場：病院等5ヵ所程度（検討中）

内容：ビデオ上映（理学療法業務の紹介：日本理学療法士協会編）
理学療法業務見学

7、理学療法相談会

日時：7月8月

会場：理学療法月間事業開催各会場

内容：理学療法・理学療法士に関わる相談

8、すこやかかながわ一万人健康ウォーク（主催：かながわ健康財団）

健康生活展ブース展示

日時：例年11月第2土曜日（予定）

会場：未定

内容：検討中

実行委員を募り実施する予定

9、パンフレット・ポスター等の作製

各事業の事前広告もしくは当日配布するポスター・カレンダー等、ならびにちらし・パンフレットを作製。

ブース展示のためのパネルを作製。内容は検討中。

10、頒布物作製

士会名入りクリアフォルダ・修正テープ等を作製。

品目・内容は検討中。

1～8の事業等で配布

スポーツ支援・健康増進部（前 スポーツサポートケア委員会）

部長 渡邊裕之（北里大学医療衛生学部）

スポーツ支援・健康増進部では継続事業である全国高校野球選手権大会神奈川県大会に対する支援に加え、今後他の競技スポーツに対する支援について拡大していく予定である。

1、全国高校野球選手権大会神奈川県大会に対する支援

神奈川県高等学校野球連盟よりベスト8以降の高校に対し、スポーツ傷害への対処ならびに予防の依頼を受けて行っている事業である。平成20年度は記念大会となるため神奈川県から2校代表が選ばれる予定。したがって、平成20年度大会に限りベスト4以降の対応となる。

2、技術マニュアルの作成

全国高校野球選手権大会神奈川県大会にて実施する投手ならびに野手に対するストレッチングマニュアルの作成。

3、技術研修会

- ① 第1回技術研修会（H20.5～6月）
内容：投球障害肩・肘
- ② 第2回技術研修会（H20.6～7月）
内容：大会スタッフに対する技術指導
- ③ 第3回技術研修会（H21.2～3月）
内容：野球以外（未定）

環境支援部

担当理事 中村さち子（平塚市民病院）

1、福祉用具スキルアップ研修会

日時：平成20年10月～11月頃
場所：未定(平成19年度と同会場を予定)
内容：福祉用具に関する講習および実技講習
講師：検討中(平成19年度講師を継続依頼予定)

2、住宅改修研修会

日時：平成20年8月ごろ予定
場所：未定
内容：住宅改修における建築の基礎知識に関する研修
講師：1級建築士予定

3、部会の開催

事業遂行のため、10回程度部会を開催する

中途障害支援部

担当理事 露木昭彰（(有)足柄リハビリテーションサービス）

1、事業計画

- (1) 会員職場実態調査
 - ① 2008年9月実施
 - ② 2009年2月完成

2、会議開催

- (2) 場所
 - ① 鶴巻温泉病院
- (3) 開催予定
 - ① 2008年4月、6月、7月 2009年1月、2月、3月
 - ② 第2水曜日予定
 - ③ 時間 18:30～20:00
- (4) データ集計作業
 - ① 4回×2回=8回（予定）

発達障害支援部（前 障害児者福祉部）

部長 平井孝明（神奈川県立こども医療センター）

1、理学療法普及キャンペーン（仮称）における公開シンポジウムの開催

日時：平成20年8月3日（日） 10：00～16：00

場所：横浜ラポール

対象：一般県民対象、無料

テーマ：未定

予定参加人数：未定

2、地域作業所・グループホーム職員研修

目的：障害を持つ人への介助法と健康管理について理解を深める。

日時：平成20年10月（予定） 10：00～16：00

場所：あゆみ荘

対象：地域作業所・グループホーム職員

内容：介助法の実際・介助者の健康管理についての講義と実技。

3、横浜市地域支援事業（理学療法士巡回相談）

地域作業所に対し巡回健康相談を行い、利用者等の健康の増進を図る。

予定回数：105回

4、理学療法普及キャンペーン（仮称）における公開シンポジウム記録集のまとめ

平成20年度の公開シンポジウム記録を要約し、理学療法—技術と研究—に掲載する。

5、小児理学療法ガイドブック（第3版）の更新

神奈川県における小児理学療法実施施設名称、連絡方法、内容等をホームページ上で更新する。

6、県域作業所支援事業

県域作業所からのニーズに対し具体的な対応策を検討し、利用者・介助者の健康増進を図る。

7、障害児者福祉部会の開催

事業遂行のため7回部会を開催する。

介護保険部（前 高齢者福祉部）

部長 相川浩一（介護老人保健施設アゼリア）

1、理学療法普及啓発キャンペーン（仮称）公開講座

日程 7月

場所 未定

対象 神奈川県民

内容 介護予防関連

2、関連職種研修会

日程 9月

場所 未定

対象 関連職種

内容 技術支援

3、PT/OT 地域ケアネットワーク合同研究会

日程 2月

場所 未定

対象 PT/OT/その他

内容 未定

4、介護保険に関する情報発信に等を検討

医療保険部

担当理事 炭 孝昭（太田総合病院）

1、主な事業内容

- ① 診療報酬に関する情報収集と調査
- ② 会員に対する診療報酬に関しての情報提供
- ③ 医療保険対象施設に関する調査
- ④ その他

2、5回/年の医療保険部会議の開催

<スケジュール>

診療報酬改訂後

4月から6月の間 2回の会議開催

その後1回/3ヶ月の頻度での会議開催

会員ライフサポート部（前 女性ライフサポート委員会）

部長 萩原文子（川崎社会保険病院）

1、研修会開催

日時：未定

会場：未定

内容：検討中（会員向け）

- 2、新人教育プログラムⅠ－1にて講習
- 3、会員のライフサイクル問題の情報を収集・検討
会員の動向・勤務状態などを把握できるような調査・情報収集を行う。
復職支援について検討する。
- 4、情報提供（活動報告）
士会ニュースに出産・子育て体験者の経験談や関連情報を掲載する。
士会ホームページに活動状況・関連情報などを掲載する。
会員の動向の調査結果などを関東甲信越ブロック学会などにて報告する。
- 5、会員ライフサポート部会の開催
事業遂行のため8回の部会を開催する。

学術局担当理事

- 常任理事 畠中泰司（横浜市立大学附属病院）
理事 松永篤彦（北里大学医療衛生学部）
理事 菅原憲一（神奈川県立保健福祉大学）
理事 湯田健二（海老名総合病院）

学術局

2008年度の主な事業は以下の通りです。2008年度より学術局の事業を若干充実させるため、これまでの活動に加え、学術誌編集部に査読委員会を設け、投稿原稿の査読審査が十分に行なえるよう配慮します。また、県士会主催の神奈川県理学療法士学会の開催を計画的に進めるため、学術大会企画部を新たに設置します。

- 1、学術サークル助成事業
- 2、神奈川県病院学会への協力（学術委員及び学会運営委員派遣）
- 3、（社）日本理学療法士協会事業への協力（現職者講習会等の開催）
- 4、全国学術・教育担当者会議出席

学術講習部

部長 太附広明（相模原協同病院）

- 1、部会の開催
多施設から構成した15名程度の部員で年間約6回の部会を開催し、講習会内容を企画する。
- 2、講習会について
年間4回の講習会を開催する。
そのうちの1回は小児領域の内容とする。
- 3、神奈川県からの委託事業として「リーダー育成のための研修会」を開催する。
- 4、講習会参加申し込み方法を基本的にウェブ登録とする
（往復はがきでの申し込みも可能）。

生涯学習部（前 新人教育部）

部長 川村博文（神奈川県立保健福祉大学）

- 1、新人教育プログラムの企画
- ①1年次 1) 研修会（5単位）
- ・パートⅠ（3単位）（士会新人オリエンテーション開催時）
テーマ 1. 協会組織と機構
2. 職業倫理・管理運営
3. 理学療法士・作業療法士法および関連法規
（介護保険法等）
 - ・パートⅡ（2単位）

- テーマ 3. 地域におけるリハビリテーション
6. 症例検討 I

②2 年次 1)研修会 (5 単位)

- テーマ 1. 理学療法の研究方法論
2. 人間関係
3. 生活環境支援 (含む福祉関連用具)
4. 社会の中の理学療法
6. 症例検討 II

③3 年次 1)研修会 (3 単位)

- テーマ 1. 生涯学習
3. 世界の理学療法
6. 症例検討 III (学術発表および論文発表)

2、「症例検討 III」単位認定のための対策プロジェクト

- 1) 第 2 回 神奈川県理学療法士会症例検討発表会開催 (年 1 回開催予定)

3、部会開催と関係会議の出席

- 1) 部会開催 : 8 回程度
2) 関東甲信越ブロック新人教育担当者会議出席予定

データ管理係 係長 田中健康 (七沢リハビリテーション病院脳血管センター)

- 1、新人教育プログラムの枠入れ作業
- 2、県士会員の学術参加状況のデータ入力・管理
- 3、新人教育プログラムに関する諸手続

学術誌編集部 部長 山崎哲司 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

- 1、部員および部会
部員は 6 名(8 名程度まで増員予定)。部会は年 10 回程度を予定。
- 2、『神奈川県理学療法士会・会報「技術と研究」第 37 号』の編集・発行
特集テーマに関する学術論文や投稿原稿などを掲載し、本会の学術誌として発行する。
- 3、投稿原稿の査読委員会の組織化や査読マニュアルの作成を検討する。
- 4、講習会・研修会の録画ビデオの保管・管理の業務を行う。また、今後の保管方法や貸出し等の業務について検討する。

臨床実習教育部

部長 坂本美喜（北里大学医療衛生学部）

1、臨床実習に関する講習会の開催

神奈川県委託事業として、臨床実習指導者研修会を開催する。

日程：平成 21 年 2 月頃

場所：未定

内容：臨床実習指導方法に関する講演会

2、臨床実習教育部主催の研修会を開催する

*臨床実習の現状を知ることが主目的とする

1) 開催時期：平成 20 年 9 月頃

2) 内 容

*テーマ；養成校が急増するなかで、どのように臨床実習を展開するか

*ワークショップ形式として、参加者が活発に意見交換できるようにしたい。

3) パネリスト：2 名程度（施設側、養成校側、各 1 名）

学術大会部

担当理事 湯田健二（海老名総合病院）

神奈川県理学療法士学会の開催計画、学会長選任、推薦、学会運営に関する資料等の管理を行なう。2008年度は本格活動の準備期間とし、組織の構築を図る。2009年度より本格的な活動を行なうものとする。

局に属さない部・委員会

組織検討委員会

委員長 萩原利昌（川崎市障害者更生相談所）

- 1、神奈川県理学療法士学会学会長及び準備委員長経験者との打合せ会の開催
 県域ブロック化を見据えて、学会長・準備委員長経験者の方々から意見聴取
- 2、今後の神奈川県理学療法士会組織のあり方について報告書提出
- 3、委員会の開催

IT化推進委員会

委員長 澤田明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

- 1、インフラ関連
 IT化に必要なインフラの検討
- 2、印刷物関連
 士会の発行する冊子等印刷物の電子化に関する検討
- 3、ウェブサイト関連
 ウェブページ管理部門移転に関する協力^(*1)
 ウェブサイトインタラクティブ機能移転に関する調整^(*2)
- 4、委員会開催

*1 ウェブサイト管理部への部門移転に関する協力

*2-1) 学術情報登録システム(オンライン登録システム)の暫定的管理

- 2) メール問い合わせフォームの暫定的管理
- 3) メールマガジンの暫定的編集・発行
- 4) 学会演題登録システムによる第26回神奈川県理学療法士学会への協力
- 5) 新人教育プログラム3年次6「症例検討Ⅲ」の単位認定手続きに関するオンライン化
- 6) 新人オリエンテーション参加登録のオンライン化

規約審議委員会

委員長 植松豊子（川崎市立井田病院）

- 1、「公益法人見直し」に伴う規約の検討
- 2、その他、規約に関すること

表彰審査委員会

委員長 磯部貴光（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

- 1、(社)日本理学療法士協会 協会賞推薦
- 2、神奈川県知事表彰（神奈川県保健衛生表彰）推薦
- 3、神奈川県公衆衛生協会会長賞推薦
- 4、その他表彰等の推薦
- 5、被表彰者名簿および表彰規程等の検討

6、その他

選挙管理委員会

委員長 山田 彰（伊勢原協同病院）

平成 21 年 3 月 社団法人日本理学療法士協会 代議員選挙

第 26 回神奈川県理学療法士学会

学会長 坪内敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

準備委員 25 名程度

会 議 8 回程度開催予定